

令和3年度
広島大学光り輝き入試
総合型選抜（I型）
教育学部

第三類（言語文化教育系） 日本語教育系コース

小論文問題

実施期日 : 令和2年11月19日（木）
試験時間 : 9時30分～12時00分（2時間30分）

注意事項

1. 試験開始の指示があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. 問題冊子は表紙を含めて4枚、解答用紙は5枚、下書き用紙は2枚です。
3. 解答用紙の所定欄に受験番号を記入してください。
4. 解答は解答用紙の指定の場所に記入してください。
5. 解答用紙は室外へ持ち出してはいませんが、問題冊子及び下書き用紙は持ち帰ってください。
6. 机上には、本学受験票、配付した問題冊子等、黒鉛筆（和歌、格言等が印刷されているものは不可）、鉛筆キャップ、シャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り（電動式、大型のもの、ナイフ類は不可）、定規、時計（辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの、秒針音のするもの、キッチンタイマー、大型のものは不可）、眼鏡、ハンカチ、目薬、ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけ取り出したもの）のほかは置くことができません。

令和3年度 広島大学光り輝き入試
総合型選抜（I型）
教育学部
第三類（言語文化教育系） 日本語教育系コース
小論文問題

第1問

次の文章は、福沢諭吉『学問のすゝめ』の冒頭部分である。ここで福沢諭吉は、教育の大切さを強調しつつ、学問をよく修めた者が「富人」「貴人」となり、無学な者が「貧人」「下人」となると主張している。では勉学は、身分やお金を獲得するために励むものなのだろうか。そもそも、人は何のために勉強するのだろうか。福沢諭吉の文章を引用しながら、あなた自身の考えを800字以内で述べなさい。

著作権保護の観点から、公開していません。

（福沢諭吉（1942）『学問のすゝめ』岩波書店 p.11-12

表記を一部改変）

令和3年度 広島大学光り輝き入試
総合型選抜（I型）
教育学部
第三類（言語文化教育系） 日本語教育系コース
小論文問題

第2問

以下の文を読んで、設問1～3の問題に答えなさい。

著作権保護の観点から、公開していません。

(注) truism 自明の理

(Ingrid Piller. (2017). *Intercultural Communication: A Critical Introduction. Second Edition.*

Edinburgh University Press. pp.182-183.)

令和3年度 広島大学光り輝き入試
総合型選抜 (I型)
教育学部
第三類 (言語文化教育系) 日本語教育系コース
小論文問題

設問1 本文の内容や著者の主張と合っているものを選択肢の中から、3つ選びなさい。

- ① 筆者は国際交流の重要性を主張している。
- ② Nakane がインタビューした日本人学生は、授業中に話したいと思っていなかった。
- ③ Nakane がインタビューした日本人学生は、英語に自信がない学生が多かった。
- ④ 日本人学生が授業中に発言できないのは、オーストラリアのやり方に慣れていないからである。
- ⑤ 日本人学生が授業中に発言できないのは、静かで恥ずかしがりだからである。
- ⑥ 日本人学生が授業中に発言できるように、先生や周りの生徒は十分配慮をしている。
- ⑦ 日本人の学生の中には、いつ発言すればいいのかわからないため、意見が言えない者がいた。
- ⑧ オーストラリアの大学の授業で、発言中に割り込むことはあまりない。
- ⑨ オーストラリアの大学の授業で、先生の意見に反対することはよくある。
- ⑩ オーストラリアの大学で、先生は平等に学生に発言機会を与えている。

設問2 この文では、オーストラリアの大学の例が挙げられていますが、日本人学生とオーストラリアの学生がいっしょに勉強することで、偏見 (Stereotype) は少なくなったと作者は考えていますか。また、違う文化の人と勉強することで、偏見は少なくなるとあなたは思いますか。作者の意見を述べた上で、それに対するあなたの意見を 600 字以内で述べなさい。

設問3 ステレオタイプ (Stereotype) は他の文化の人と接する時に、どのような影響を与えているのでしょうか。具体的な例を挙げながら、400 字以内で述べなさい。